秋葉は天与の景観

☆☆☆諸施設も續々☆☆☆

新津市の其の発展を求めて、本格的に秋葉山の開発に乗り出したのは、市制施行の昭和二十六年の春頃からで、それまでは単にドライブランドに過ぎなかった。

由来新津は石油の街、鉄道の街として、広く知られて来たが、その裏合に発展性のないと云はれていた。それは種々な原因のあるうち、その最大の原因は、県都新潟が余りにも近いのと、鉄道に、利便の多い点が挙げられもいる。

殿後の大都市の発展は実に目覚ましいものがあり、従って近傍の小都市には魅力がなくなり自然大都市に総てが集中する傾向が濃厚となりつつある。およそ新津は昔から石油以外の特殊産業の方がいところであるが、この発展上何んとかして活路を見出さなければと、ここで市の中心にある秋葉山に着目した訳である。

秋葉山は全く天与の景観で、その周辺は住宅を始め施設の設置に絶好の適地である。先年都市計画法の適用都市に指定されたので、道路敷設を急ぐことになり、着々整備され現在八〇%の進捗を示しているが、この五年間県、市営住宅を始め個人住宅などが続々として建設され、面目一新し、なお著増の傾向である。

昭和二十九年三月には印度ネール首相より世界平和のため日本に贈られた仏舎利十粒のうち、仏様あての本県のために頂戴した一粒が安置する大塔の建立の議が起り、遂に秋葉山に指定されるに及び、関係方面の協力を得て十月末に、小型飛行機で、仏舎利を空塔を建立して仏舎利を奉安することになった。

愛宕大空塔建立を目指し、愛宕努力中であるが、本年に亦り秋葉山を広く紹介、宣伝するためには、施設の充実にあることを痛感すると共に、一方市の内外よりの強い要望にも応えるため、約二百万円を投じて、秋葉山の整備を図ることになり、既に完成して使用を開始している。

なお、親光様あての本県のために別に一大施設としてこれを設置することになった。

労働金庫予託金など

請願、陳情 8件

このたび、市議会に対し、左記請願、陳情が提出された。

(1)**請願書**（吉津宏平四郎外十一名提出）

要旨　程島、中村、西島の三都市を貫通する市道は、逆時交通量が増大し、二米の幅員では交通の支障となるので、四・米半に拡幅願いたい。

(2)**請願書**（矢代田区長新井田義太郎外一名提出）

要旨　小須戸矢代田字三分一より新津市大字金津字蒲沢に至る道路約二五三間は、現在七尺の幅員であるがこれではリヤカーの交錯さえ不可能で、供米搬出時にも不便を感じ且つ火災等の不幸生の際の消火活動も不充分になるおそれがあるので、現在より五尺の拡幅をお願いしたい。

(3)**請願書**（祥照寺保育園運営委員長渡辺良平提出）

要旨　当保育園は、地元民の要望により本年五月より道年保育園として開設しているが、冬に向うためストーブの設備を要し、且つそれの他の採暖費に年間三万ほどかかるので助成願いたい。市財政多端の折であるので、今年はその半額もしくは三分の一でも結構である。

(4)**請願書**（消防団第十五分団第一部長土橋忠一提出）

要旨　当部の大の見捨は合併事務引継の際に三十年度予算に組み入れて貰う約束で、地元民の強い要望もあるので、立替工事をしたが、その後この費用が事務引継の際に漏れていることが判明したので早急に解決して貰いたい。

(5)**請願書**（北上区長石石勉四郎外四名提出）

要旨　公民館三興野分館は、明治三十四年に建築した校舎を転用したものであるため、腐朽は甚だしく背年学級の授業等にも影響することになったが、古材を用いても二十数万円を要するので、幾分でも経費を少くするため一小の古材を払下願いたい。

(6)**請願書**（新潟県労働金庫理事長杉山善太郎提出）

要旨　県内十五万勤労者の福祉増進のため、昭和三十一年度に於て貴市当現金五十万円を当金庫に預託されるよう願いたい。

(7)**請願書**（千成場区長村惣勝外三名提出）

要旨　小倉地区の消防分団九分団中、現在第用ポンプを使用しているのは当三十五分団第二部のみであり、一朝有事の際に充分なる機能を発揮できないおそれがあるので、小型動力ポンプ（三二十馬力位）を配置願いたい。

(8)**陳情書**（新津電修場職員代表樋木増行提出）

要旨　国鉄の機構改革に伴い当職場の縮少が西されているが、この縮少は、ここに勤務する職員を要するので、幾分でも経費を少くするため、人員の減少を及ぼすものと吟えられるので、これに議会として反対されるよう願いたい。

右の八件は、十一月二十九日の臨時市議会に付議され、(1)(5)(6)(8)は採択、(2)(3)(4)(7)は厚生委員会に、(4)(7)は総務文教委員会にそれぞれ付託された。

（市議会事務局）

新津市財政再建年次総合計画表（歳入）

（単位千円）

区分	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
1. 税収入	116,147	132,054	135,094	134,246	134,000	133,921	133,893	133,884
2. 地方交付税	20,467	25,735	21,325	21,349	21,098	21,317	21,435	21,464
3. 国庫支出金及び県支出金	38,554	43,987	40,266	41,847	40,908	43,896	43,155	42,963
4. 地方債	12,300	14,600	47,700	5,000	5,700	6,300	5,400	5,400
イ 財政再建債			43,000					
ロ その他	12,300	14,600	4,700	5,000	5,700	6,300	5,400	5,400
5. その他	27,542	33,490	15,574	13,792	14,154	14,154	14,154	14,154
歳入合計	215,010	249,866	259,959	216,234	215,860	219,588	218,037	217,865

（歳出）

区分	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
1. 消費的経費	149,248	165,788	144,264	140,042	138,227	135,594	135,584	135,584
イ 人件費	69,035	72,421	74,650	72,266	70,451	67,808	67,808	67,808
(イ) 基本給	43,504	43,108	44,273	42,869	41,446	40,180	40,180	40,180
(ロ) その他	25,531	29,313	30,077	29,397	29,005	27,628	27,628	27,628
ロ 物件費	46,004	46,414	40,822	38,673	38,673	38,673	38,673	38.673
ハ その他	34,209	46,953	29,092	29,103	29,103	29,113	29,103	29,103
2. 投資的経費	74,182	74,428	69,548	51,942	53,201	61,217	58,998	71,244
イ 補助事業	41,290	37,783	45,274	38,110	37,800	48,559	45,599	45,599
ロ 単独事業	32,892	36,645	24,274	13,832	15,401	12,658	13,399	25,645
3. 公債費	5,827	7,908	10,855	21,750	22,432	22,777	23,455	11,037
イ 財政再建債元利償還金			2,779	12,710	12,710	12,710	12,710	0
ロ その他	5,827	7,908	8,076	9,040	9,722	10,067	10,745	11,037
4. 繰出金	2,500	2,500	2,500	2,500	2,000	0	0	0
5. 前年度繰上充用金	15,307	31,217	32,792	0	0	0	0	0
歳出合計	247,064	281,841	259,959	216,234	215,860	219,588	218,037	217,865
歳入歳出差引額	△ 32,054	△ 31,975	0	0	0	0	0	0

農業委員会

会長　横藤
会長代理　稲垣
委員　佐々木修源
　　佐藤吾
　　佐市雄
　　皆川吾

新津地区

委員　金津地区
委員　大小渡川齋中伊青渡長萱中目横
　　深千木坂石池平清名長古岡石町井
　　古谷屋川村川屋越川藤木垣山
　　井代村井崎田田野屋川小彌太郎治三郎健次郎佐市雄吾
　　龍作惣忠文順耕秀興松正治夫衛夫治郎
　　吉吉作松吾吾作夫一
　　戸齋南領三本旭岡中藤
　　松藤雲野五間田野田
　　秀慎貞酒光隆了寅良
　　三吾次造三博吉雄男三孜

小学校長西藤
小学校長東中
小学校長南岡
第一中学校長旭
第二中学校長本
第三中学校長三
第四中学校長五
第五中学校長野
金津中学校長南
小合中学校長貞